

健診検査センターニュース

No.481 号

検査内容変更のお知らせ

平素より当センターをご利用頂きまして、誠にありがとうございます。
この度、下記の検査項目内容を変更させて頂くことになりましたので、お知らせ致します。何卒、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

変更日：平成 24 年 12 月 3 日（月）より変更

変更項目：4902 マイコプラズマニューモニエ DNA

	(新)		(旧)	
検査方法	LAMP 法		PCR	
材料・検体量	咽頭ぬぐい液	喀痰 2.0 mL	咽頭ぬぐい液	髄液 1.0 mL
採取容器	r 滅菌ポリスピッツ	ℓ 滅菌喀痰採取容器	r 滅菌ポリスピッツ	h SDS EDTA-2Na 入り
保存方法	必ず凍結保存してください		室温	凍結
所要日数	4 ~ 6 日		4 ~ 10 日	
基準値	陰性			
実施料	300 点 (DO23「微生物核酸同定・ 定量検査」の 4)			
判断料	150 点 (微生物学的検査判断料)			
備考	咽頭ぬぐい液は、滅菌綿棒で拭い、滅菌ポリスピッツ (r) に綿棒を入れて凍結保存してください。 他項目との重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので検体採取にあたっては取り扱いに十分ご注意ください。			

年内報告可能な最終受付日は、12月25日（火）です。

年内の最終受付日は 12 月 28 日（金）とさせていただきます。

●マイコプラズマニューモニエ DNA

LAMP 法によりマイコプラズマニューモニエ DNA を特異的に検出します。

マイコプラズマニューモニエは、非定型肺炎起因菌のなかで高い割合を占めており、以前は周期的な大流行がみられましたが、近年では継続して毎年増加しています。昨年（2011 年）は、過去最多報告数を大きく上回り、今年さらに増加傾向を示しています。

マイコプラズマニューモニエ (*Mycoplasma pneumoniae*) によるマイコプラズマ肺炎は、飛沫感染で伝播し、頑固な咳嗽と発熱を主症状として発症します。小児や若年者に好発し、一般に肺炎のなかでは症状が軽いとされていますが、重症例や合併症を伴う場合があります、適切な治療を迅速に行うことが要求されます。また、他の非定型肺炎と有効な薬剤が異なるため、マイコプラズマニューモニエの感染を特定することは臨床診断において重要とされています。

本検査は、マイコプラズマニューモニエに特異的な遺伝子を迅速に核酸増幅する LAMP 法を用いており、従来、培養法や血清学的診断により行われていた確定診断法より早期の同定が可能となります。